


2月19日 逍遙 

西郷さんの銅像の、その何とも言えない穏やかな表情がワタシ達に感じさせてくれる不思議な優しさ、そして、今を生きているワタシ達をちゃんと見守ってくれているような、そんな心地よい安心感。それはきっと、西郷さんの言う「敬天愛人」の理念に、国境や時代を超越した「普遍性」と「寛容さ」があるからなのでしょう。そこには、本当に強い者だけが持ち得る「優しさ」が漂っているからじゃないかな、と逍遙館長さんは一人で呟いていました。

西郷さんの生き様は、あまりにも奥が深く、その分その感じ方や解釈も千差万別、人や猫それぞれでしょう。それでもやっぱり「西郷」さんという存在には、何かしら人や猫を惹きつけてやまない奥深い魅力と、思想的な洞察力、そして人生における精神的な座標軸みたいなものがあるように強く感じます。

西郷さんの銅像の視線の先には、一体何があるのでしょうか？何が見えているのでしょうか？その答えはきっと、今を生きているワタシ達それぞれが、それぞれに見つけなければならないのかもしれないかもしれませんね。

西郷銅像の視線の先には？、

のふふふ

